

【様式 2】

平成 1 3 年度 授業実践結果

学校名：伊自良村立伊自良中学校

授業者等	授業日	平成 1 4 年 2 月 2 6 日	学 年	1 , 2 学年
	授業者	大塚 政明	教 科	特別活動
	校 種	小・ 中 ・高・特	題 材	「一日入学を終えて」
	ねらい	校区内の 6 年生徒との交流を通して、在校生は新一年生に対して学校の様子や部活動の様子などを伝え、誇りと自信を確認する。また、新一年生は、中学校生活に期待をもつことができる。		
授業の流れ	1 . 伊自良北小学校と回線を接続する。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>【課題】 新一年生の質問にこたえよう。</p> </div> <p>2 . 教師同士が、TV 会議システムを利用した会話をしている様子を生徒たちが見る。</p> <p>3 . 自由に話すことができる雰囲気をつくりをする。</p> <p>4 . 新一年生が質問を始める。 * 質問については、一日入学後、体験したことをもとに感想を書き留め質問状としてあらかじめ中学校へ送付している。 以下の質問にこたえる。 ・ 一日何時間の授業なのですか？ 予習・復習は毎日やるのですか？ ・ 部活の練習時間はどのくらいありますか？ ・ 練習のやり方について詳しく教えてください。 ・ どんな学校の行事があるのですか？ ・ 休み時間には何をしていますのですか？</p> <p>5 . お礼の言葉を聞く 6 . お互いあいさつをして解散</p>			
考察	<p>教師同士の打ち合わせが大切であり、はきはきと話す指導が必要であることがわかった。また、わかりやすく話そうと事前に話す内容を考えてきたことでとまどうことなく質問をすることができた。</p> <p>小学生らの質問が多く、こたえる中学生も誠実にこたえようとすることができた。特に、発言するときに自分の名前を名乗ってから発言し、発言を終えたら「以上です。」や「どうでしょうか。」など相手に発言を終える言葉や質問をする言葉を選んで発言する必要があることが生徒にも理解できた。</p> <p>このシステムでは、発言者にクローズアップするが、アップが遅いため、人が入れ替わった方がよいと感じられた。登録しても人数が多くなると工夫が必要である。今回は、回線速度が速くタイムロスがなかったが、つなぐ学校によってはコマ落ちすることもある。</p> <p>会話にテンポがなく止まりがちであったため、時間が非常にかかってしまった。一時間内で、15 ぐらいの質問しかこたえることができなかった。</p> <p>質問することを恥ずかしく思い、なかなか正面を向いて話すことができなかった。話しやすくするために、テーブルについて話すなど場の設定、環境をつくっていくことは今後、この会議システムを運用する上で大切なことだと思う。</p> <p>このシステムを利用した授業をなんども繰り返す必要がある。</p>			

